

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	沖縄県
-------	-----

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	石垣市立大浜小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数 18
学級数	1	2	1	2	2	2	2	12	
児童数	35	61	39	62	46	59	5	307	

研究の概要

1. 研究主題

自ら学び生き生きと学習する子の育成
～基礎的・基本的事項の定着をめざして～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・全学年・算数を中心に実施
・児童の理解の状況に差が出やすい教科であるため。
・児童の実態調査から、基礎・基本の定着が不十分であるため。

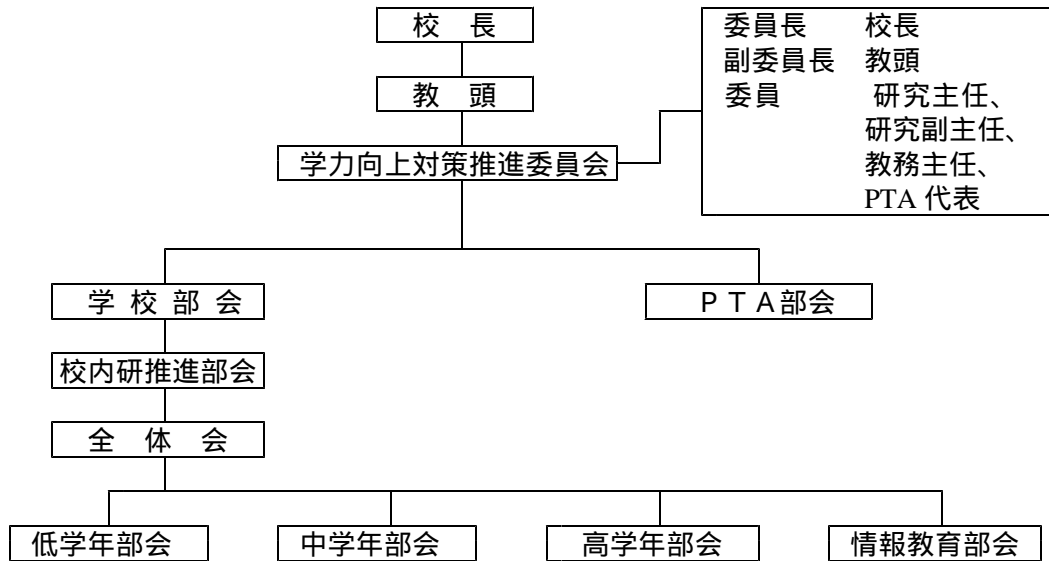
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 自ら学び生き生きと学習する子の育成 ～基礎的・基本的事項の定着をめざして～</p> <p>仮 説 各教科(国語、算数を中心として)、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等で情報教育やボランティア活動、体験的な学習を取り入れた授業を進めれば、自ら学び生き生きと学習する子が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 (1)分かる授業(国語、算数)、総合的な学習の時間の実践、計画 (2)算数科における授業改善 ・学年TTの推進 ・各単元計画の作成(個への対応を盛り込む) ・算数ワークの作成 ・各単元評価の工夫(形成的評価) ・ドリル、100マス計算の有効活用(常時携帯) ・各単元ごとの準備テストの実施とその後の回復指導 ・マスターシートの活用 ・補習指導における父母や地域ボランティアの活用 (3)情報教育の推進 (4)ボランティア教育活動の推進 (5)朝の10分間読書の推進 (6)補習指導の充実 (7)教育環境の整備</p>
--------	--

平成 15 年度	<p>テーマ 自ら学び生き生きと学習する子の育成 ～基礎的・基本的事項の定着をめざして～</p> <p>仮説 各教科（国語、算数を中心として）、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等で情報教育やボランティア活動、体験的な学習を取り入れた授業を進めれば、自ら学び生き生きと学習する子が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 (1)分かる授業（国語、算数）総合的な学習の時間の実践、計画 (2)算数科における授業改善 (3)コミュニケーション能力を育てる取り組みの工夫 (4)情報教育の推進 (5)ボランティア教育活動の推進 (6)朝の10分間読書の推進 (7)補習指導の充実 (8)教育環境の整備 (9)高学年における教科担任制の試み (10)地域人材の積極的活用 (11)家庭学習の取り組みの工夫</p>
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ 自ら学び生き生きと学習する子の育成 ～基礎的・基本的事項の定着をめざして～</p> <p>仮説 各教科（国語、算数を中心として）、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等で情報教育やボランティア活動、体験的な学習を取り入れた授業を進めれば、自ら学び生き生きと学習する子が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 (1)分かる授業（国語、算数）総合的な学習の時間の実践、計画 (2)算数科における授業改善 (3)コミュニケーション能力を育てる取り組みの工夫 (4)情報教育の推進 (5)ボランティア教育活動の推進 (6)朝の10分間読書の推進 (7)補習指導の充実 (8)教育環境の整備 (9)高学年における教科担任制の試み (10)地域人材の積極的活用 (11)家庭学習の取り組みの工夫</p>
----------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

昨年と同様に本年度も算数科を中心に授業改善に取り組み、全学年研究授業を実施することができた。

算数科の基礎的・基本的事項の定着を図るため、全学年で百マス計算を授業のはじめ5分間で行うことで計算の向上を図ることができた。また、集中力も高まり、速く、正確に計算しようとする児童が増えてきた。

算数科の学習では、全学年に少人数指導やTT指導を行い、児童一人一人の意見を生かしたり、発表したりする機会を増やすことができ、学習意欲を高めることができた。

国語科の基礎的・基本的事項の定着を図るため、自作の漢字カードを使ったり、漢字ミニテスト、漢字スキル等を続けることで、定着を図られるようになりつつある。

5, 6学年では、国語と算数の教科担任制を取り入れることができた。

総合的な学習の時間では、地域素材の豊年祭を中心に調べ学習をすることで、発表しようとする意欲が高まってきた。

週3回の朝の10分間読書を続けることで、静かに読書にのぞみ、落ち着いた雰囲気の中で1日のスタートができ、1年間を通した読書指導が可能である。

学期1回の学校テストに向けて、復習に取り組み、努力する姿が多く見られるようになった。家庭学習を続けてする児童が増えてきている。

2. 今後の課題

基礎的・基本的事項を定着させるための自主学習への取り組み方の工夫。

総合的な学習の時間のテーマにあった活動の工夫や全体計画の見直し。

「言葉遣い」「挨拶」「後片づけ」「根気強さ」等の生活面の指導の工夫。

家庭学習、読書等での家庭との協力。

学力等把握のための学校としての取組

テスト	目 的	内 容	時 期
単元テスト	各単元の内容の理解度を把握する	各単元の観点別評価ができるようにする	各単元終了時に実施
学校テスト	各学期ごとの内容の理解度を知る	国語、算数の学期毎の指導内容から出題	1学期 6月末日 2学期 11月末日 3学期 2月末日
TK式学力検査 知能検査	低学年(1・2年)、中学年(3・4年)の内容の理解度を知る	3年、5年のみ実施	5月
基礎学力検査	小学校の内容の理解度を知る	5年、6年のみ実施	12月

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

	日時			
平成14年学力向上対策実践発表会	平成15年1月29日(木)	本校体育館	自ら学び生き生きと学習する子の育成	本校保護者
八重山地区学力向上対策推進実践発表会	平成15年2月15日(土)	八重山支庁2階大会議室	生きる力を育むことをめざし、幼児、児童、生徒一人一人に基礎学力を身につけさせる	八重山地区教育関係者及び住民
平成15年学力向上対策実践発表会	平成15年11月19日(水)	本校体育館	自ら学び生き生きと学習する子の育成	本校保護者 石垣市学校関係者及び市民
平成15年大中校区小中合同学対報告会	平成16年1月14日(水)	大浜中学校体育館	学力向上対策における校種間の連携を深め、児童、生徒の学力向上に資する	大浜中学校区保護者
平成15年石垣市学力向上対策実践報告会	平成16年2月4日(水)	石垣市民会館	幼児、児童、生徒一人一人の基礎学力の定着を図り、生きる力を育成する	石垣市教育関係者、保護者、住民

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無